

多面的機能の増進を図る活動【広報活動】

〔市町村名：

関市

〕

活動組織名	富岡環境保全協議会		
○付け	活動内容（※該当する項目すべてに○をつけてください）		
○	農地維持活動		
○	資源向上活動（共同）		
○	農村環境向上活動	啓発・普及（地域住民との交流活動、学校教育等との連携 など）	
		生態系保全（生物の生息状況の把握、外来種の駆除 など）	
		水質保全（水質モニタリングの実施・記録管理 など）	
○		景観形成・生活環境保全（景観作物の施設への植栽、定期的な清掃 など）	
		水田貯留機能増進・地下水かん養（水田の貯留機能向上活動 など）	
	資源循環（地域資源の活用・資源循環のための活動）		
○	多面的機能の増進を図る活動	農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化	
	資源向上活動（長寿命化）		
活動(行事)名	稲作体験（田植体験、稲刈り体験、コスモス畑の観賞）		
実施場所	関市市平賀地区		
実施日	令和元年5月31日 令和元年10月9日		
参加者	富岡小学校5年生と引率教員	82名	その他個人(農業者) 9名
	JA職員	2名	その他個人(非農業者) 1名

〔活動の内容〕

5年生の総合的な学習に稲作体験を組み入れて実施している。JA富岡支店と協力し、バケツ稲栽培で各個人が稲の成長を確認している。休耕田を活用し実際に栽培体験をしている。昨年より多い古代米を作付けて、収穫時には、鎌を使って刈り取り、次に足踏み脱穀機を使って籾にした。「みのにしき」はコンバインで脱穀し、作業の機械化を体験した。

〔参加者の感想など〕

好奇心を持って活動する児童の姿を、近所の人たちに温かく見守られて体験活動が進められた。家庭科でご飯を炊いて食べるのが楽しみ。全校児童にも食べてもらおうと意欲的に刈り取る。応援に当たった「富岡「農地・水」環境保全隊」の皆さんも、稲刈りや稲を藁で束ねる体験を懐かしく思うと同時に、機械化のありがたさを実感していた。



「富岡「農地・水」環境保全隊」の紹介



休耕田を活用した田植え体験



コンバインでの脱穀体験



足踏み脱穀機の脱穀体験